

**今日のトピック** アジア・オセアニアの株式市場 (2017年1月)

**世界経済が回復する中、資金流入と堅調な推移を予想**

**ポイント1 16年末から堅調に転じる**

■アジア・オセアニア株式市場は、2016年12月14日の米利上げと2017年の利上げ予想回数引き上げがアジア市場からの資金流出懸念につながり、調整しました。その後、米長期金利の上昇が一服する中、2016年12月末から買い戻しが入っています。

**ポイント2 ドル高一服で買い戻しも**

■米長期金利の上昇一服とともに、ドル高進行にも巻き戻しが入りました。ドル高によるアジア市場からの資金流出懸念が後退したことで、株式市場への買い戻しも見られました。

**今後の展開**

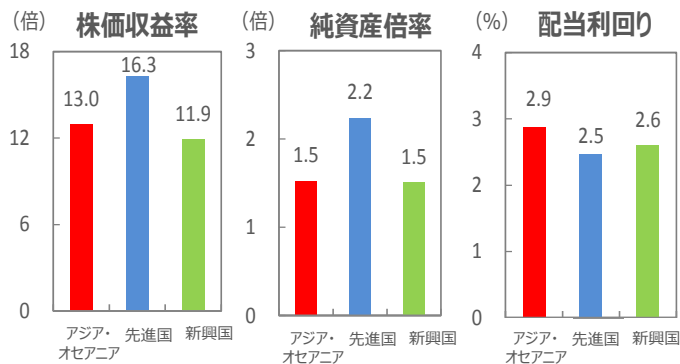
**世界経済が回復する中、資金流入と堅調な推移を予想**

- 2016年12月は豪州株の好調さが目立ちました。豪州では、米長期金利の上昇一服などから、公益株や金融株、不動産株など利回りの高いセクターが買い戻され、また、原油価格の上昇を受けてエネルギーセクターが上昇しました。
- 今後は、トランプ次期大統領の発言や財政政策の中身を金融市場がどのように評価するか注目されます。内容によっては、市場の変動性が高まる可能性があります。アジア・オセアニア株式市場は、①相対的に割高感がない、②1株当たり予想利益が安定している、ことなどから良好な市場と考えられ、世界経済が回復する中、資金の流入と株式市場の堅調な推移が予想されます。



(注) データ期間：株価指数は2016年1月1日～2017年1月16日。1株当たり予想利益 (今後1年) は2016年1月～2016年12月。いずれもMSCI AC アジア・パシフィック (日本を除く、配当込み、現地通貨ベース) による。予想はFactSetによる。  
(出所) FactSetのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**各種株価指標の比較**



(注) データは2016年12月30日。MSCIの各株価指数による。  
(出所) FactSetのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここも  
チェック!**

2017年1月13日 **インドの2016年度GDP見通し**  
2017年1月13日 **アジア・オセアニアのリート市場の動向 (2016年12月)**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。